

# G7に対して政策提言のかたちで物申す仕組みがC7 ～C7が政策提言の議論をはじめ～

八木巖

G7はわずか7か国で(それも首脳が)世界課題について話し合うというもので、その正当性が常に疑問視され、民主主義的な論議のプロセスもない、との批判がされてきました。さまざまな意見を反映させる意味から「G7」の枠組みではありつつエンゲージメントグループとしてC7がNGO、CSO(市民社会組織)により政策提言を行なっています。

C7は開催国のNGOやCSO(市民社会組織)がホスト国となり、世界のNGOやグローバルサウス(南)のNGOが中心となり政策提言をおこないます。ただし2016年伊勢志摩サミットでは「G7サミット日本市民社会プラットフォーム」を作って政策提言をしました。不戦へのネットワークもここに参加し「平和への権利」で提言書をピースボートと共同で作成、分科会を持ち、集会参加者と提言について議論しました。2019年の大阪G20においても「市民サミット」が開かれ、大小NGO・NPOが多様なテーマで分科会を持ちました。なお名古屋でのG20外相会議では不戦へのネットワークはピースデポと共同で「朝鮮半島の非核化と平和プロセスの推進」、について提言書を提出し、外務省との話し合いをもちました。

広島サミットでは1月よりいくつかのワーキンググループが政策提言作りをします。すでに「核兵器廃絶」のワーキンググループがたちあがっています。「開かれた社会」グループも1月31日にキックオフ集会を開きます。4月に東京で「市民サミット」が開かれる予定です。

岸田政権の大軍拡路線のお披露目となりそうな広島サミットです。市民運動が連携した多様な運動の展開が望まれます。

C7「開かれた社会」キックオフ集会紹介は次に。

=====

C7「開かれた社会」ワーキンググループ  
2023年日本開催・国内キックオフイベント  
参加者募集

【1月31日(火)14時から、オンライン開催】

=====

【対象】2023年5月開催のG7広島サミットや、G7の市民社会によるエンゲージメントグループ「C7」を舞台とした政策提言活動に関心があるか、参加を希望

する市民社会関係者。

【主催】G7市民社会コアリション2023

【協力】市民社会スペース

NGOアクションネットワーク(NANCiS)

【発題者】

◆「国連自由権規約委員会第7回日本審査NGO共同報告書にみる、日本の市民社会スペースと民主主義の現状」

○小川隆太郎さん

(ヒューマンライツ・ナウ事務局長、弁護士)

◆「デジタル/データ社会と民主主義の課題」

○内田聖子さん

(アジア太平洋資料センター(PARC)共同代表)

<世界と日本の市民社会の議論をつなぐ>

◆「2019年G20/C20日本開催の経験から学ぶ」

○新川達郎さん

(同志社大学名誉教授、元C20「地域から世界へ」

WG国内コーディネーター、元G20大阪市民サミット

実行委共同委員長)

【参加申し込み】

以下フォームよりお願いいたします。

<https://forms.gle/hADM85rxJ2sQ3XzZA>

(申込締切:1/31(火)ひる12時まで)

## C7に関連したこの地方のイベントの紹介

核兵器のない誰も取り残さない世界を～

ゲスト:渡部朋子さん

(特定非営利活動法人・ANT-Hiroshima 代表理事)

メッセージ:松原裕樹さん

(G7市民社会コアリション2023共同代表)

2月23日(木)祝日13:30～16:00

三重県民交流センター3階交流スペース(30名)

(アスト津 三重県津市羽所町700番地)

オンライン(30名)

主催:三重市民活動ボランティアセンター

共催:東海市民社会ネットワーク

生活協同組合コープみえ

